

参考資料 1 将来都市像の検討

第6次東郷町総合計画策定に向けた各種アンケート結果や東郷町の地域課題、さらに、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正を目指す今後5年間の計画である「第2期東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」(令和元年度策定予定)を踏まえ、第6次東郷町総合計画における「将来都市像」を検討し、第2回審議会(書面会議)で提示した。その後、第2回審議会の意見を踏まえて「東郷町総合計画策定委員会基本構想検討部会」で将来都市像を再検討し、仮案を以下の通りとした。

<仮案>

人・まち・みどり

ずっと暮らしたいまち

とうごう

・前段はまちを構成する重要な要素である「人」と、人を取り巻く物理的な環境全体を示す「まち」、町民が誇りに感じている自然環境である「みどり」が共生・調和し、つながりあう様子を表現。中段は、人とまちとみどりの共生・調和により、アンケート等で多く得られたキーワードである「住みやすい」まちを形成することを目指し、住んでいる人も、新しく来た人も自発的に「ずっと暮らしたい」と感じられるまちの実現を表現。後段はまちへの愛着と誇りを表す意味合いで、町名を柔らかくひらがなで表記。

<その他案

案1

笑顔と活気

あふれるまち

とうごう

みどり

・前段はアンケート等で多く得られたキーワードである「笑顔」と、人やまち、産業が活性化し、にぎやかになる様子を「活気」という言葉で表現。中段はアンケート等で多く得られたキーワードである「元気」、「あふれる」を使用し、人やまちだけでなく、産業も元気あふれる状態を表現。後段はまちへの愛着と誇りを表す意味合いで、町名を柔らかくひらがなで表記。※「元気」に替えて、町民が誇りに感じている自然環境である「みどり」を守り生かしていくため、「みどりあふれるまち」と表現。

案2

人・まち・みどり

つながりあうまち

とうごう

・前段はまちを構成する重要な要素である「人」と、人を取り巻く物理的な環境全体を示す「まち」、町民が誇りに感じている自然環境である「みどり」が互いに共存し合う意味合いを込めて「つながりあうまち」として表記。後段はまちへの愛着と誇りを表す意味合いで、町名を柔らかくひらがなで表記。

案3

暮らしたくなる

人と緑が調和するまち

とうごう

・前段はアンケート等で多く得られたキーワードである「住みやすい」、「暮らしやすい」を前面に出し、新たな人の流入を促す意味の「暮らしたくなる」と、中段はまちを構成する重要な要素である「人」と町民が誇りに感じている自然環境である「緑」が釣り合ってまとまる意味合いで「調和するまち」と表現。後段はまちへの愛着と誇りを表す意味合いで、町名を柔らかくひらがなで表記。

案4

住みやすい

活気あふれる

共創都市

・前段はアンケート等で多く得られたキーワードである「住みやすい」、中段は人だけでなく、産業も元気あふれるという意味合いを込めて「活気」「あふれる」という言葉を使用。後段は多様な立場の人たちと新しい価値を創り上げていくまちを目指すとして「共創都市」という新たな都市像を表現。

案5

みんながいきいき

くらしと緑のまち

とうごう

・前段は人だけでなく、まちを構成する全てである「みんな」が、アンケート等で多く得られたキーワードである「笑顔」「元気」「明るい」「楽しい」を合わせた「いきいき」という言葉で表現。中段は町民ニーズで多く得られたキーワードである「住みやすさ」と町民が誇りに感じている自然環境である「緑」を繋げて「くらしと緑のまち」と表現。後段はまちへの愛着と誇りを表す意味合いで、町名を柔らかくひらがなで表記。

【凡例】

福祉 子育て 交流 防災 自然 産業 医療・介護 交通・道路 住みやすさ キーワード

案6

輝けるまち

とうごう

～GO TO 新たな半世紀（又は時代）へ～

・前段は「セントラル開発」を契機として、人もまちも輝きを増すイメージと、後段はまちへの愛着と誇りを表す意味合いで、町名を柔らかくひらがなで表記。また、令和2年度に町制施行50周年を迎えることから、次なる半世紀(時代)に向けて突き進むイメージを追加。

案7

笑顔と活気

みどり

ゆたかなまち

とうごう

・前段はアンケート等で多く得られたキーワードである「笑顔」と、人やまち、産業が活性化し、にぎやかになる様子を「活気」という言葉で表現。中段は町民が誇りに感じている自然環境である「みどり」を守り生かしていくため、「みどりゆたかなまち」と表現。後段はまちへの愛着と誇りを表す意味合いで、町名を柔らかくひらがなで表記。

案8

みどり

ゆたかな

笑顔と活気あふれるまち

とうごう

・前段は町民が誇りに感じている自然環境である「みどり」を守り生かしていくため、「みどりゆたかな」と表現。中段はアンケート等で多く得られたキーワードである「笑顔」と、人やまち、産業が活性化し、にぎやかになる様子を「活気」、「あふれる」という言葉で表現。後段はまちへの愛着と誇りを表す意味合いで、町名を柔らかくひらがなで表記。

案9

人・まち・みどり

暮らしたくなるまち

とうごう

ずっと暮らしたくなるまち

いつまでも暮らしたいまち

暮らしやすいまち

笑顔で暮らすまち

・前段はまちを構成する重要な要素である「人」と、人を取り巻く物理的な環境全体を示す「まち」、町民が誇りに感じている自然環境である「みどり」が共生・調和し、つながりあう様子を表現。中段は、人とまちとみどりの共生・調和により、アンケート等で多く得られたキーワードである「住みやすい」まちを形成することを目指し、住んでいる人も、新しく来た人も自発的に暮らしたいと感じられるまちの実現を表現。後段はまちへの愛着と誇りを表す意味合いで、町名を柔らかくひらがなで表記。※「人・まち・みどり ずっと暮らしたいまち とうごう」の別案として検討されたもの